

令和8年度
近畿大学大学院 総合文化研究科 入学試験
【一般】

文化・社会学専攻
専門科目試験問題

【歴史学コース】

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をお読みください。

- 1) 解答はじめの合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
- 2) 机のうえには、受験票、HBの黒鉛筆又はシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り(電動式は除く)、時計(時計機能だけのもの)、眼鏡以外のものは置かないでください。
- 3) 辞書については、持ち込みを許可されている専攻・コースのみ使用可能です。(電子辞書は除く)
- 4) 試験開始後、解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。
- 5) 試験開始後に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁等に気が付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 6) 試験終了後、問題冊子はお持ち帰りください。

令和8年2月21日実施

令和 8 年度 総合文化研究科 一般入学試験・2月入試 専門科目

(文化・社会学専攻 歴史学コース)

文化・社会学専攻 歴史学コース(日本中・近世史特論)専門科目試験問題

【問題1】次の史料を読み、以下の問1～7 に答えよ。

この部分は著作権の関係により、掲載できません。

出典:『戦国遺文 大内氏編』2(東京堂出版、2017 年)1544 号

問1 下線部①とは何か説明せよ。

問2 下線部②とは何か説明せよ。

問3 下線部③とは何か説明せよ。

問4 下線部④の内容を説明せよ。

問5 下線部⑤を主語を補って現代語に訳しなさい。

問6 下線部⑥の意味を説明せよ。

問 7 下線部⑦の立場について、この史料の内容をもとに説明せよ。

【問題2】

※あらかじめ問題を蓄積して活用し、複数回実施を可能とするため試験問題を非公開とする。

【出題意図】

日本中・近世史における学術的テーマについての理解があるか。